

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



IMAGINE ROTARY

イマジン
ロータリー

第1602回例会 令和4年12月1日(木)

【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。今日は
渋沢栄一さんの話についてで
す。4つのテストと同じ考え方
をしている部分を紹介致します。



真正の利殖法

実業というものは、如何に考
えて宜いものか。もちろん世の
中の商売、工業が利殖を図るも
のに相違ない。もし商工業にして物を増殖する
の効能がなかったならば、すなわち商工業は無
意味になる。商工業は何たる公益もないもの
になる。去りながら、その利殖を図るものも、も
し悉くおのれさえ利すれば、他はどうでも宜か
ろうということをもって、利殖を図って行った
ならば、その事物は如何に相なるか、むずかし
いことをいうようであるけれども、もし果たし
て前陳の如き有様であったならば、かの孟子の
言う「なんぞ必ずしも利を曰わん、また仁義あ
るのみ」云々、「上下交も利を征りて厭かず、国
危うし」云々、となるのである。それゆえに、
真正の利殖は仁義道徳に基づかなければ、決し
て永続するものでないと私は考える。かく言え
ば、とかく利殖を薄うして人慾を去るとか、普
通外に立つというような考えに悪くすると走る
のである。その思いやりを強く過ぎると、世の
中の仕事というものは、段々衰微してしまうの
である。つまり利を図るということと、仁義道
徳たる所の道理を重んずるということは、並び
立って相異ならん程度において、初めて国家は
健全に発達し、個人は各々その宜しきを得て、
富んで行くというものになるのである。

試みに例えば石油であるとか、もしくは製粉
であるとか、あるいは人造肥料であるというよ
うな業務について考えてみても、もし利益を進
めるといふ観念がなくて、なりゆき次第でどう
でも宜いというような風にやったならば、決し
て事業が発達するものではない。富の増進する
ものでないことは、明らかである。仮に、もし
その仕事が自己の利害に関係せず、人毎に儲か
ってもおのれの仕合せにならぬ、損しても不仕
合せにならぬということであったならばその事

業は完全に進まぬけれども、おのれの仕事であ
れば、この物を進めたい、この仕事を発達せし
むるといふことは、争うべからざる事実である。
されば、もしそういう観念から他のことを凌い
で、あるいは世の中の大勢を知らず、あるいは
事情を察せずに、われさえ善ければ宜いとい
うことであったならば、如何になるか。必ずとも
にその不幸を蒙って、おのれ一人を利そうと思
った、そのおのれもまた、不幸を蒙るといふこ
とになるのである

利益を取り過ぎてもダメだし、かといって自
分の利益を図らないのもダメだと言っています。
正に4つのテストで言っている事で、それより
もずっと前の時代から渋沢栄一さんは言ってい
ました。

今日はクラブ総会という事で、次期役員選考
致しますが、次年度会長は山田さん、次年度幹
事は高田さんという事でやっていきたいと思
います。

四つのテスト

高田 富康会員



NHKの深夜のラジオを聞いて
います。午前4時からの「明日
へのことば」ですが、いろんな
活躍をした人の言葉がありま
す。この間は歌の歌詞で「あん
たが一番、私が二番」という歌
詞がありました。

ロータリーに通じていると思いますが、利他
の心という事で、自分も大事だけれども相手が
一番で、私が二番という事で、久しぶりにラジ
オを聞きましたが、私の中では良い言葉かなと
思いました。

機会があった時に話してみようと思っていま
した。「あんたが一番、私が二番」良い言葉だな
と思います。

【幹事報告】

山田 利明



1. 地区事務所よりガバナ一月
信10月号について
2. ロータリーの友事務所より
2021-22年度事業報
告について

今月の最後の例会は夜間例会
の予定になっておりましたが、
諸事情により通常の例会とさせ
て頂きます。

《理事役員会報告》

12月	1	木	クラブ総会・Rの友音誦会	理事役員会
	8	木	通常例会	
	15	木	休会	
	22	木	通常例会	
	29	木	休会	
1月	5	木	通常例会	理事役員会
	12	木	会員卓話（干支の話）	
	19	木	休会	
	26	木	新年会	

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
9	0	3	0	33.3%

ロータリーの友音誦会

2022年3月19日
国際ロータリー 第2700地区
第7グループ1M 講演要旨

コロナ禍とワンヘルス

人間、動物、環境（生態系）、この三つの健康は「ワンヘルス」、つながったもの、とする考え方は、医療の歴史と共に古くから伝えられてきたもので、決して新しい考え方、というわけではありません。しかし、動物由来感染症が急増する近現代の現状への対応として、三つの健康をワンワールドで一つとする考え方が、21世紀になって国際的にも改めて注目されるようになりました。

SPEECH

日本医師会名誉会長 横倉 義武
Yoshitake Ynkokura

変異するコロナウイルス

「コロナウイルス」とは、リボ核酸（RNA）を遺伝情報とする二重膜を持つウイルスの総称です。ご存じのように、人だけではなく、家畜や野生動物など、私たちの周りに生息する動物がこのウイルスに感染します。多くの場合、宿主動物が軽症の呼吸器症状や下痢を引き起こすだけ、なのですが、家畜の間では、豚の流行性下痢ウイルスや伝染性胃腸炎ウイルス、鶏の伝染性気管支炎ウイルスなどが知られています。これらは致死性のコロナウイルスですが、種の壁を超え、他の動物に感染することはあまりありません。そんな中、2002年に中国広東省で発生した重症急性呼吸器症候群（SARS）は、コウモリのコロナウイルス（SARS-CoV）が人に感染することで発症したと考えられています。キクガシラコウモリが宿主であり、当時、非常に重症化する恐ろしい病として知られました。2年間ほど流行した後、2003年その終息が確認され、世界で約8000人が感染、770人が亡くなりました。

2012年にはヒトコブラクダを宿主とするコロナウイルス（MERS-CoV）が現れました。人に感染する中東呼吸器症候群（MERS）としてアラビア半島で初めて発症した後、韓国で大流行しました。結局、世界で2500人ほどが感染、935人が亡くなりました。そして、今回の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）。このウイルスは2019年の12月ぐらいに、中国武漢市での初感染が確認されています。COVID-19と名付けられたこの疾患は、世界中に拡大し、2022年3月現在、感染者は6億人近い数まで増え、死亡者が700万人に迫るほど多くの人々に影響を与えています。加えて、この新型コロナウイルスは変異をしやすいため、一般論として、ウイルスというものは増殖や感染を繰り返す中、少しずつ変異をしていくものですが、今回のウイルスは約2週間で一回程度の速度で、変異しているらしいのです。日本の国立感染症研究所では、こうした変異をリスク分析し「懸念される変異株」と「注目すべき変異株」に分類、さらに「監視下の変異株」にも着目しています。「懸念される変異株」には当初、アルファ株、ベータ株が挙げられ、重症化しやすいとされたのがデルタ株でした。オミクロン株も「懸念される変異株」です。デルタ株は従来株に比べ感染性が1.5倍高かったのですが、オミクロン株はデルタ株の3倍感染力が強く、伝播性の高さが早くから指摘されていました。その主因は、上気道で増殖しやすい／潜伏期間が短い／ワクチンや過去の免疫から逃れやすい性格がある、の三つ。上気道で増殖しやすいということは飛沫感染をしやすく、症状として鼻水や咳